

従来からのマスクング

**強い着香で**  
オフフレーバーを被覆

人工的な印象

風味設計の幅が限定される

近年求められるマスクング

**オフフレーバーのみを**  
**ピンポイントで抑制**

自然な印象

風味設計の自由度が上がる

**「オフフレーバーのみをピンポイントで抑制」する成分とは？**

**その探索方法は？**

## < 飲食中の香りの知覚 >

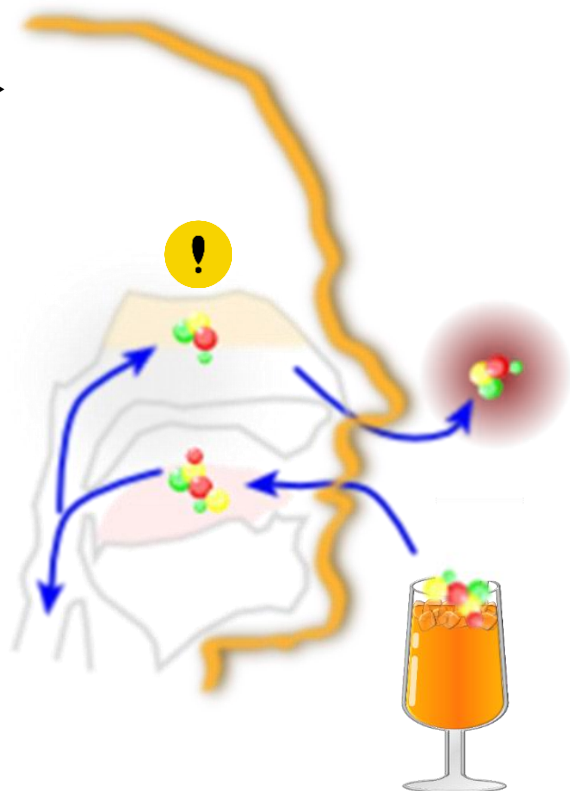
口中で香気成分が揮散



一部が嗅上皮へ到達



香りとして知覚 



## < マスキング効果を得るためには・・・ >

■ オフフレーバー成分と  
マスキング成分が  
同時に嗅上皮に到達

■ その状態が持続

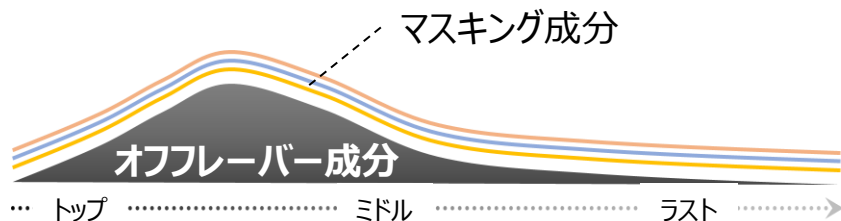


香気成分の**揮散挙動**が鍵

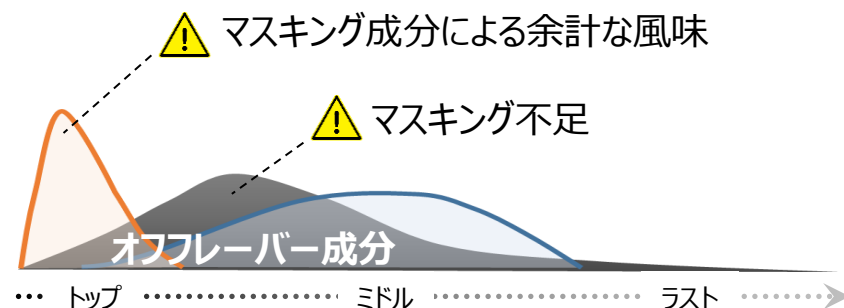
(揮散量の時間変化)

オフフレーバー成分 } 口中の揮散挙動をそろえる  
マスキング成分 }

○ 揮散挙動がそろった状態



✕ 揮散挙動がバラバラの状態

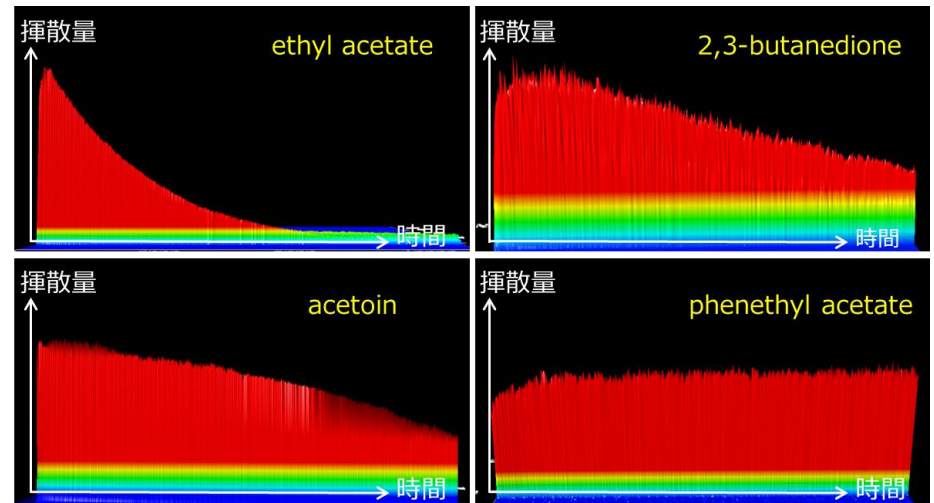
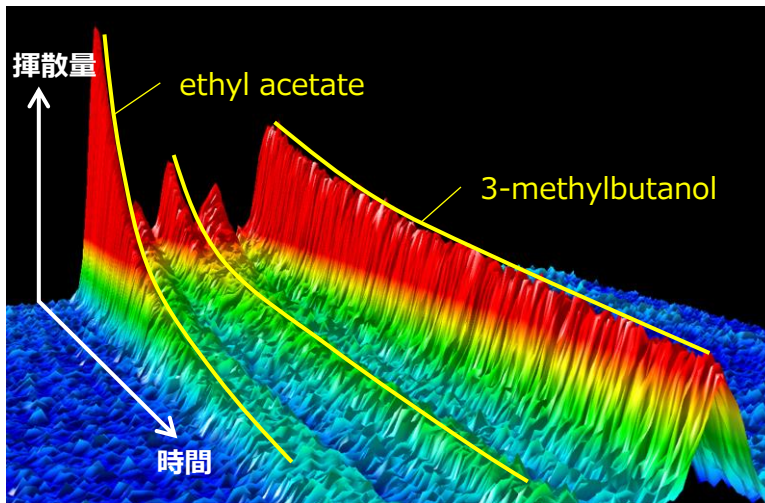


オフフレーバーのみをピンポイントで抑制する成分：

**揮散挙動が類似する成分**

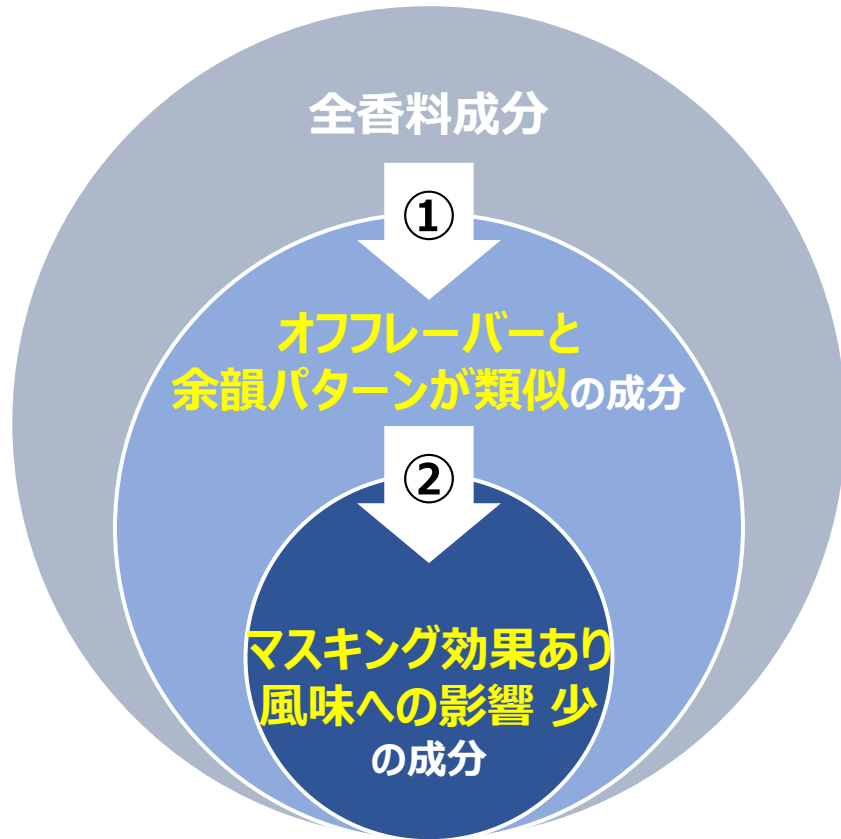
口中で揮散した香気成分が、どのように消えるか／残るかを経時的に測定する技術

→ **成分固有の揮散挙動（余韻パターン）** を把握できる



**揮散挙動が類似する成分の探索方法：**

**余韻パターンを指標としたスクリーニング**



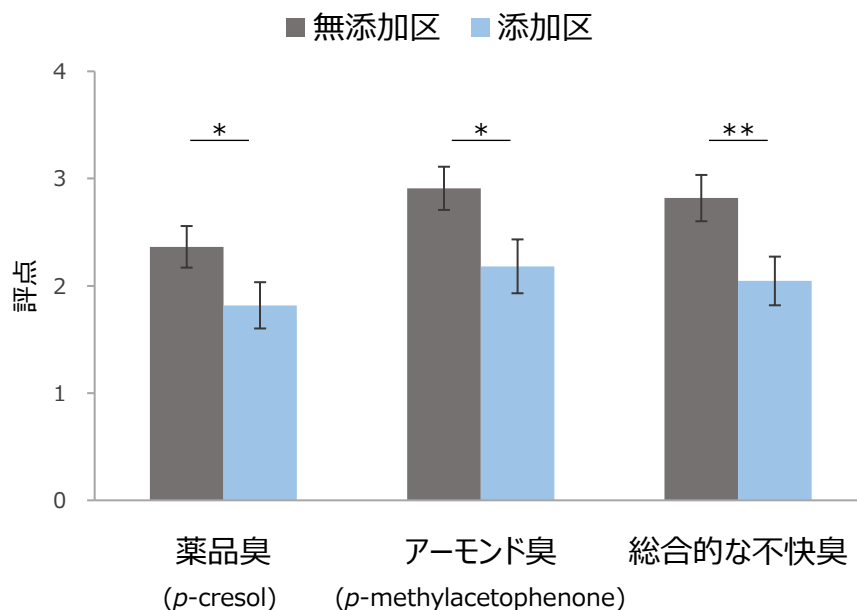
## ① 数値的スクリーニング



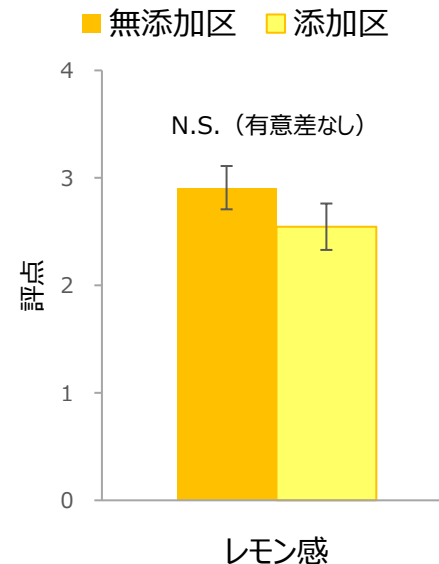
## ② 官能的スクリーニング



## 熱虐待品のオフフレーバーに対する マスクング効果 **有**



## 残したい風味への 影響 **無**



評価生地  
レモンアウォーター

マスクング香料添加量  
0.02%

保管条件  
冷蔵 : 4℃ 7日間  
熱虐待 : 55℃ 7日間

評価項目  
薬品臭/アーモンド臭/  
総合的な不快臭/レモン感

評点 (無添加区をコントロールに)  
1:弱い/2:やや弱い/3:同  
程度/4:やや強い/5:強い

n=11 \*;p<0.05 \*\*:p<0.01

## オフフレーバーのみを選択的に抑制